

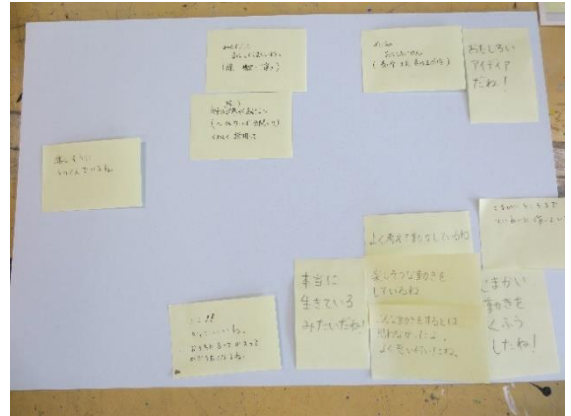
- 1 派遣期日 平成29年8月23日（水）
2 研修先 学校名（会場名） 東京学芸大学附属世田谷小学校
所在地 東京都世田谷区深沢4-10-1
<http://www.setagaya-es.u-gakugei.ac.jp/>

3 研修内容

夏期現職教員研修会（図画工作）「子どもの意欲を高める図画工作科の授業」

（1）褒める言葉

褒める言葉を付箋に書いた。「おもしろいアイディアだね。」「本当に生きているみたいだね。」「楽しそうに取り組んでいるね。」など、作品や作る様子に対して、様々な場面で褒める言葉が出てきた。そこから、グループ分けをして、まとめ、褒める言葉について、良いところをまとめていった。授業でも使える言葉がたくさんあり、参考になった。



（2）授業作りワークショップ

①パラパラマンガ

アニメーションの仕組みを使って楽しい作品をつくる。今回のテーマは、「動く」であったので、アニメーションに入る前に、動き方はどんなものがあるかの例が示された。算数のように足したり、引いたりするだけでなく、移動したり、位置が変わったり、大きさが変わったりするなど方法も学んだ上で作成を始めた。アニメーションを理解するために、最初は、2コマのアニメーションを紙で作った。動きがどのように変わるか確認しながら、作るようにした。

○A4サイズの紙を縦に4等分する。半分に折り、めくると絵が変わるように絵を描く。

○一部違うところを作る。

○反り返るくらいまで上を固く巻く。

○指で押さえてパラパラとめくる。

② コマコマアニメーション

パラパラマンガの仕組みを理解した後で、今度は、5・6年の教科書に掲載されている、「コマコマアニメーション」を作った。

○コマ数は、10コマ。

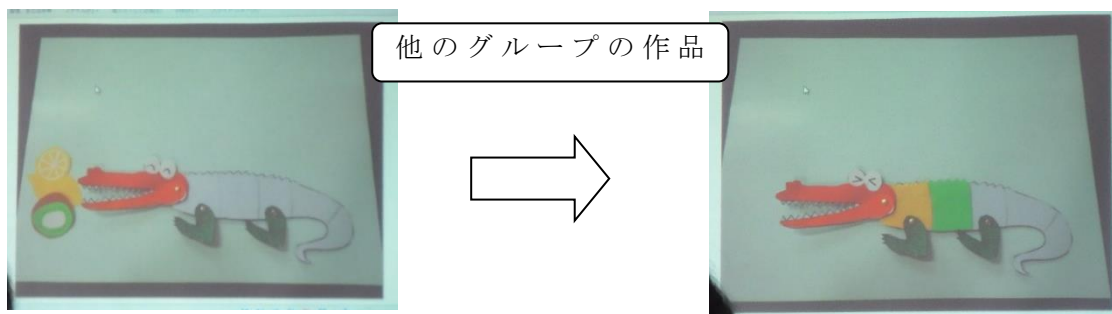
○使用するものは、画用紙、割ピン、デジカメ。

○グループに分かれ、馬が色々な建物を跳び越えていくというテーマを考え、作成した。馬は、たてがみ・尾・口の開き・足の開きなど動きができるように工夫をした。走っているときは、たてがみがなびくように、跳んでいるときは、毛が逆立つように、微妙な変化でも走る・跳ぶが分かるようにした。跳び超える建物は、ハードル、学校、山、東京タワー、スカイツリーとだんだん高さが変化するようにした。

○建物と馬ができ上がったら、台紙に並べて一コマずつ写真を撮った。

○ワークショップの最後には、鑑賞会をした。ワニがフルーツを食べるとそのフルーツの色に変化したり、海で泳いだりするアニメーションなど、様々なアイディアから、参考になる作品がたくさんあった。





(3) 講義

○新学習指導要領のポイントは、「食の種類ではなく、栄養素で考える。」つまり、「領域（造形遊び・絵・立体・工作）→資質・能力」で考える。授業で何を学ばせたいのかを明確にする必要がある。

○次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめポイントでは、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点についての話があった。

①どのように学ぶか

ア学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつけていく「主体的な学び」

イ多様な人との対話や先人の考え方（書物等）で考えを広げる「対話的な学び」

ウ各教科等で習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想・創造したりする「深い学び」

②何ができるようになるか

ア知識・技能

- ・知識（理解）…形や色などの特徴について、創造活動を通した造形的な視点として理解すること

- ・形や色の特徴…形が作り出す動き、色の調子の多彩さ

イ思考力・判断力・表現力

ウ学びに向かう力・人間性

○イメージは形になるが、思いは形にならないため、思いをイメージにつなぐように、意をくむことが大事である。

○低学年では、活動に取り組む際は、理由は何であれ、「好き」と思ったものから選ぶ。「これが好き」という気持ちが大事。その理由は高学年からでも良い。

4 感想

○褒める言葉は、言葉が思い浮かばず授業で悩むこともあったので、他の人の褒め言葉も聞けて、参考になった。作品を褒める、過程を褒める、思いを褒めるなど様々な褒め方があると学んだので、今後の授業で生かしていきたい。

○パラパラマンガ作成では、くじゃくが羽を開くところや、衣装を替えるところなど様々なアイデアが出てきて、楽しく学べた。A4サイズの紙で、4つできるので、たくさんできて子どもたちが作ったら、もっと楽しいだろうなと感じた。

○コマコマアニメーション作成では、グループで作成するので、考えを出し合い、1つの作品をみんなで作成するという達成感を味わうことができた。図工は、1人の活動や作品が多いと感じていたが、そういった活動もあると、さらに楽しくできるのではないかと考えた。割ピンを使った動きは多様で、使い方にもとまどったところがあったが、動きを確認しながら作り上げることができた。

○新学習指導要領では、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が改訂の方向として、あげられている。図工にとって必要であるものを改めて考える機会となった。今後は、何を学ばせたいのか明確にすること、思いがイメージにつながるよう考えや意見を肯定的に推察し、発言することを心がけ、授業に臨みたい。